

佳作

できるって、すてきだな

鹿児島県 鹿児島市立原良小学校三年 槻木 心美

すごいな。わたしもとんでみたい。友だちの二重とびのすがたを見て、うらやましく思ったり、くやしくなったりにしていました。わたしは二重とびがとべないのです。二重とびがとべるようになりたいと、ずっと思っていました。

とべるようになるために家で練習をはじめました。けれども、さいしょはできなくて、なきながらずっと練習をしていました。できないときは、自分をずっとせめていました。なみだばかりながしていましたが、それでも練習をつづけました。

二重とびが上手になるためにお父さんに教えてもらったことがあります。かた手でなわをもってとぶタイミングをおぼえる練習や、手をパチパチたたきながらとぶ練習を教えてもらいました。しかし、何とんでも手を回すタイミングがよくなくてとべ

ませんでした。足がいたくなかったこともあります。ずっと足がいたくてシップをはってもらいました。それでも、とんで、とんで、とびつづけました。できるようになりたいその思いでいっぱいでした。でも、できない。だんだんとできないと思うようになり、とてもくやしくて、かなしくなりました。もう練習をやめたいとも思いました。

練習をつづけていると、とっぜんよろこばしいことがおきました。なんと二重とびが一回とべたのです。お父さんとお母さんに、

「来て。」

と、大声でさけんでいました。すごくうれしくて、今までできなかったことができるってすてきだなと思っただしゅん間でした。もう言葉がありませんでした。お父さんやお母さんからも

「できてよかったね。」

「すごいよ。」

などと、言ってもらえて本当にうれしかったです。あまりのうれしさにお兄ちゃんたちにもとんで見せました。学校では友だちにすぐに見せました。お兄ちゃんや友だちからもすごくほめてもらえて、とてもうれしかったです。練習をつづければ、いつかは

できるようになるんだなと思いました。大切なことは、あきらめずに、前にむかってすすんでいくことだと気づきました。くるしかったけど、二重とびの練習をしてよかったなあと思っています。できなくてすてきなあとという気持ちを中心にのこしていきたいと思っています。

今もなわとびの練習をつづけています。じつは、まだ一回しか二重とびがとべないからです。でも、回数をふやし、はやぶさなどの新しいわざがとべるようになりたいと思っています。わたしのゆめは、シェフになることです。ゆめにむかってどりよくし、できなくてすてきなあとと思うことをふやして、がんばっていききたいと思います。